

令和5・6・7年度 静岡県教育委員会指定研究
令和6・7年度 御殿場市教育委員会指定研究

「居心地のよい学校づくり」 本発表会

御殿場小学校・東小学校・御殿場中学校



令和7年10月31日（金）
御殿場市教育委員会 学校教育課
松下 弘毅

「居心地のよい学校づくり」 本発表会

本日の流れ

- 1 居心地のよい学校づくり推進事業について
- 2 推進校での取組について
- 3 取組の成果と課題について



1 居心地のよい学校づくり推進事業について

事業概要

○趣旨（静岡県教育委員会 令和5・6・7年度指定）

「誰一人取り残さない教育」の実現を目指し、不登校やいじめ等の未然防止の視点から「居場所づくり」「絆づくり」を大切に「居心地のよい学校づくり」を推進する。併せて人間関係づくりプログラムを活用し、効果検証をしていく。

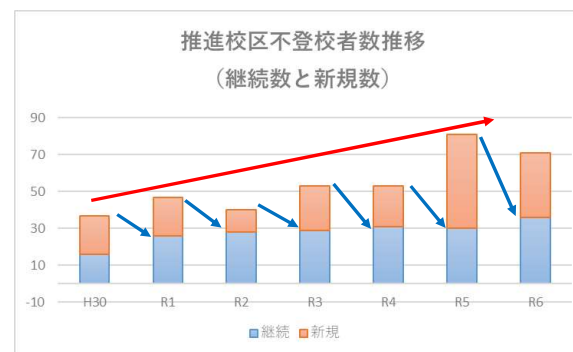
「居場所づくり」「絆づくり」の理念や人間関係づくりプログラムの改訂等の周知を通して、県内小・中学校及び義務教育学校の不登校やいじめ等の未然防止対策等に資する。

○趣旨（御殿場市教育委員会 令和6・7年度指定）

「居心地のよい学校づくり推進事業」での取組を市内の小中学校へ広げる。

1 居心地のよい学校づくり推進事業について

事業概要



新規不登校者数を何とかしなければ不登校問題は解決しない

出発点

学校に通っている全ての児童生徒にとって

【居心地のよい学校】

目的

1 居心地のよい学校づくり推進事業について

事業概要

不登校児童生徒への支援に関する最終報告

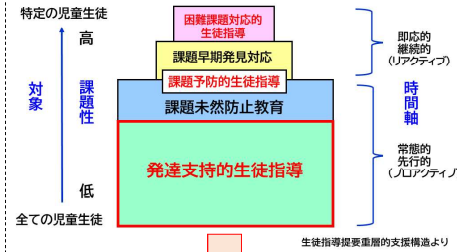
(H28.7)

第5章 学校等における取組

- 1 「不登校が生じないような学校づくり等」
 (1) 魅力あるよりよい学校づくり

具体的には児童生徒にとって、「自己が大事にされているか」、「自分の存在を認識されていると感じることができるか、かつ精神的な充実感を得られる心の居場所となっているか」、さらに、「教師や友人との心の結びつきや信頼感の中で共同の活動を通して社会性を身につけるきずなづくりの場となっているか」、「学校が児童生徒にとって大切な意味のある場となっているか」等について問い直すなど、魅力ある学校づくりを目指すことが求められている。

生徒指導の重層的支援構造

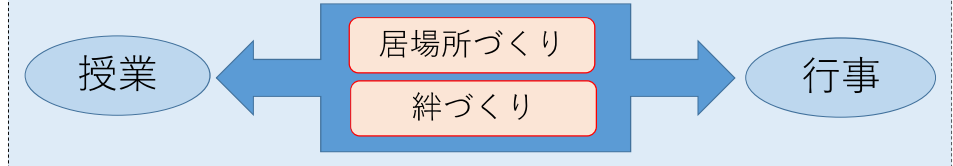


居心地のよい学校

1 居心地のよい学校づくり推進事業について

事業概要

全ての子供たちを対象とした「居心地のよい学校」



推進校での取組

- (1) プランニングシートを活用したPDCAサイクルの取組
- (2) 学習指導と生徒指導の一体化の取組
- (3) 主体的な学びに向かう取組

2 推進校での取組について

(1) プランニングシートを活用したPDCAサイクルの取組

児童生徒意識調査

年3回（7月、12月、3月）の意識調査を手掛かりに、取組の点検・見直しを長期休み等で実施し、次学期の取組につなげる。

児童生徒にとって「居心地のよい学校」かどうかを図る一つの指標

◎今学期の学校生活について、あなたはどのように感じていますか。当てはまるものを右の1から4の中から一つずつ選び、その番号に○を付けてください。

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
ア 学校が楽しい	1	2	3	4
イ みんなで何かをするのは楽しい	1	2	3	4
ウ 授業に主体的に取り組んでいる	1	2	3	4
エ 授業がよくわかる	1	2	3	4

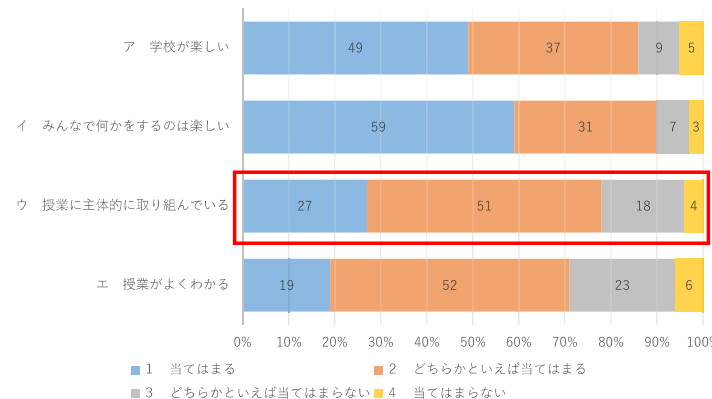
推進校3校
 ・学校評価等の項目に位置付けて実施しても構わない。
 ・文言は変えない。
 ・発達段階に応じて、教員による説明を行う。

組織的な取組とするために、重点化・共有化

2 推進校での取組について

(1) プランニングシートを活用したPDCAサイクルの取組

第〇回意識調査結果



強肯定にこだわる

△ 78 : 22
 8割は主体的に取り組んでいる
 →更なる授業改善が必要
 →残り2割も主体性を育てる授業を対象2割、実施教職員一部の教科？

○ 27 : 73
 3割しか主体的に取り組んでいない
 →根本的な授業改善が必要
 →7割の子供を対象に主体的に取り組む手立てを
 対象7割、実施教職員すべて・組織的に

2 推進校での取組について

児童生徒意識調査



プランニングシート作成

数値目標を使ったCheck・Action/Plan

目標値は「希望値」（〇%にする）ではなく「見積もり値」（〇%になる）に

【パターンA】

- △ ①目標値（＝希望値）を立てる
- ②達成するための取組を考える

【パターンB】

- ①改善を図るための具体的な取り組み方法を考える
- ②目標値（見積もり値）が決まる

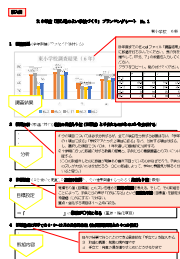
なぜならば……

<実践(Do)後のCheck・Action/Plan>

【パターンA】目標値（希望値）の修正へ意識がいく

【パターンB】取組方法の改善に意識がいく

目標値（見積もり値）とのズレを埋める「手立て」を考える



取組に対する教員の見積もり値（目標値）と子供たちの声とのズレを分析する

見積もり値を設定
具体的取組計画



2 推進校での取組について

(1) プランニングシートを活用したPDCAサイクルの取組

児童生徒意識調査



プランニングシート作成

年間4回実施

子供たちの声

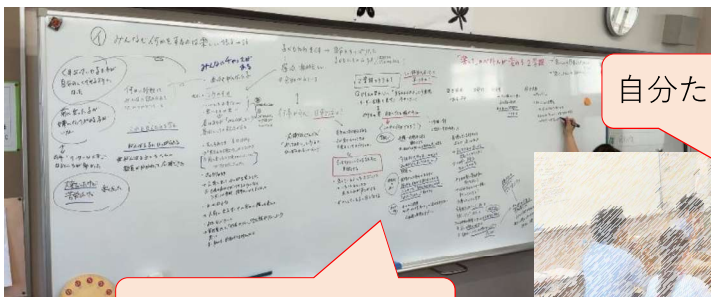
教育活動の見直し



- ・すべての教職員が、自分たちの取組を問い直す時間
- ・日々の授業や学級経営を見直し、良かったところはそのままに効果がなかった取組は改善する。
(新しいことを始めるのではなく、今行っている取組を見直す。)
- ・視点は「居場所づくり」「絆づくり」

2 推進校での取組について

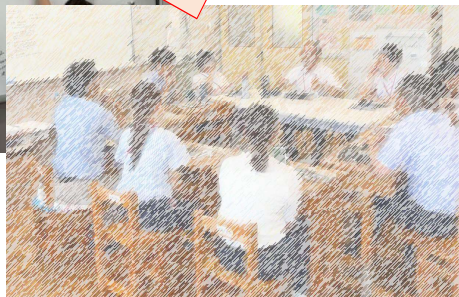
(1) プランニングシートを活用したPDCAサイクルの取組



自分たちの取組を分析

子供たちの具体的な姿

「暗黙知」を「形式知」へ
意識的・意図的・組織的に



2 推進校での取組について

(1) プランニングシートを活用したPDCAサイクルの取組

御殿場中学校のプランニングシート課題分析から

R5.7（2年生）

1年生の学習内容に比べると、2年の方が難しくなった。また1年生の苦手意識がある教科に対しての方策が具体的にわからない生徒が多い。教育相談担当と連携してフォローが必要だと考える。

環境が原因
子供が育っていない

R6.7（2年生）

「主体的」の価値観のズレが大きいのではないか。発表のみが主体的ではない。「主体的」の定義を具体的に表し、統一することで生徒の意識が変わるのではないか。

自分たちの指導を
振り返る

R7.7（2年生）

頑張りたい気持ちはあるが諦めてしまう生徒が多くいると感じ。実際は丁寧に説明したり、理解度を見取りながら支援したりすることを心がけた。このような教員側の働きかけが、生徒が安心して主体的に取り組める環境をつくったのではないかと考えられる。また、授業中に教員が見取り声をかける行為そのものが、生徒が自分の学びを肯定するきっかけとなっている可能性もある。

2 推進校での取組について

(2) 学習指導と生徒指導の一体化の取組

授業に内在化した生徒指導

生徒指導の実践上の4つの視点

自己存在感の感受への配慮

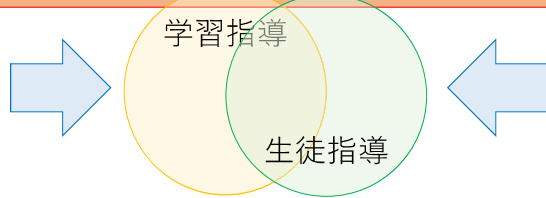
共感的な人間関係の育成

自己決定の場の提供

安全・安心な風土の醸成

授業は全ての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導の場となる

生徒指導提要 P39～
教科の指導と生徒指導の一体化
道徳教育、総合的な学習の時間
特別活動 etc.



2 推進校での取組について

(2) 学習指導と生徒指導の一体化の取組

御殿場小学校での取組



御殿場小学校
R6.7.25

生徒指導の実践上の4つの視点
捉え直し

生徒指導の実践上の4つの視点
意図的に実践

指導案(単元構想や指導家庭)に位置付け

子供たちの学びを支えていたか
検証

2 推進校での取組について

(3) 主体的な学びに向かう授業づくり

主体性
(自律的な学習者)

学校が楽しい
(居心地のよい学校)

御殿場小学校：意図的・効果的な対話の場の設定
居心地のよい学習集団作り

東小学校：課題共有や場面設定の工夫
視点を定めた相互評価や自己評価の場の設定

御殿場中学校：生徒が自ら問いをもつ、振り返りの充実

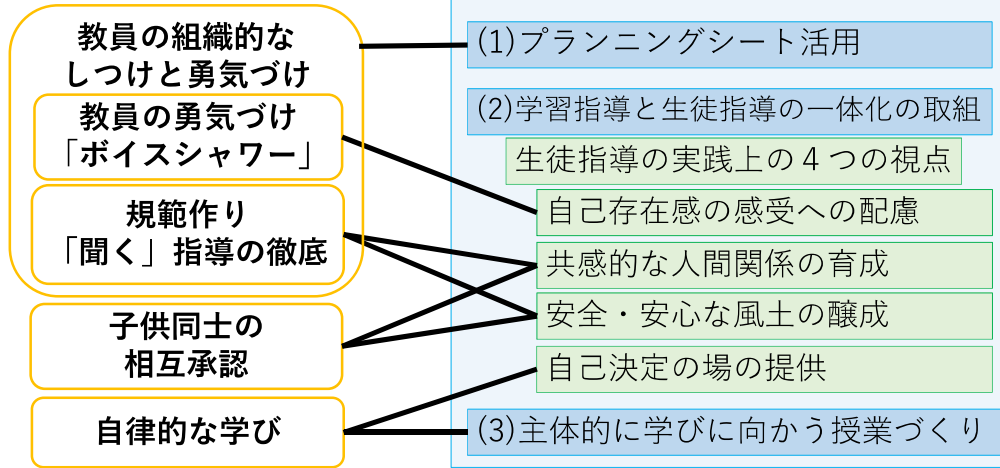
プランニングシートを活用した
PDCAサイクル

発達支持的生徒指導
(生徒指導の実践上の4つの視点)

2 推進校での取組について

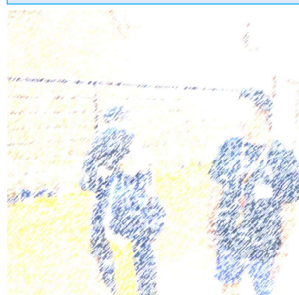
鳴門教育大学 久我直人先生

推進校の今までの取組



2 推進校での取組について

(5) 学校訪問から



御殿場中学校
R7.9.5
教師の声かけ

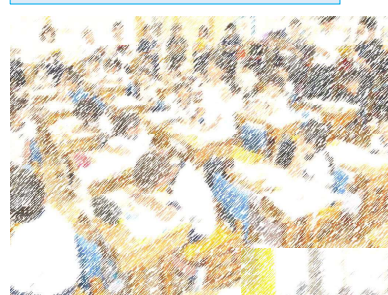


御殿場小学校
R7.9.4
話合いの座席配置

御殿場小学校
R7.6.20
ヒントタイム

2 推進校での取組について

(5) 学校訪問から



御殿場小学校
R7.6.20
聞く指導の徹底



御殿場中学校
R7.9.5
子供同士が話を聞き合う



御殿場中学校
R7.9.5
英語スピーチ



御殿場小学校
R7.7.18
ペア活動

3 取組の成果と課題

【成果】

- ・相手を大切にしようという子供たちが増えてきた。
- ・主体的に授業や行事に取り組もうという子供たちが増えてきた。
- ・子供たちの声から、学校の教育活動を見直そうという意識が高まってきた。
- ・新規不登校者の減少がみられる。(R5→R6)

【課題】

- ・引き続き、全ての子供たちが「居心地がよい」と思える学校づくりに取り組んでいく。
- ・教育活動を定期的に見直していく時間の確保を工夫する。
- ・事業の理念等を含めて、次年度に確実に引き継いでいく。

「居心地のよい学校づくり」 本発表会

御殿場小学校・東小学校・御殿場中学校

本指定研究に携わっていただいています、御殿場中学校区をはじめ全ての関係者に、感謝申し上げます。



ご清聴ありがとうございました。